

令和 2 年度加賀市当初予算

スマートシティの実現に向けた 主な事業の概要

令和 2 年 2 月





スマートシティの実現に向けた3つのテーマ

スマートシティの実現による「市民生活の利便性向上」、「新産業の創出と産業の集積」、「行政コストの削減」を目指すため次の3つの項目に取り組みます。

1. デジタル化の推進
2. 未来を担う人材の育成
3. 脱炭素社会への取組み



スマートシティの実現に向けて

○ スマートシティ推進事業

(スマートシティ推進費)
予算額：23,550千円

(新規)

・加賀市スマートシティ推進官民連携協議会を運営

- ・民間の団体、企業、行政機関が一体になって、スマートシティ構築を推進

(新規)

・加賀スマートシティ実施計画を策定

- ・「加賀スマートシティ構想」で示す方向性に基づき、課題解決に向けた先端技術の活用方法などの実施計画を策定





1. デジタル化の推進

○ スマート加賀IoT推進事業(デジタル化事業)

・IoT導入を実証

(スマート加賀IoT推進事業費) 予算額：30,000千円
(品質向上対策事業費) 予算額：10,000千円 (農業)

商工業分野

- ・製造機械に、センサー等を導入し生産性を向上

農業分野

- ・農作物の生産環境データ（温湿度、照度等）を蓄積し商品化率を向上（ルビーロマン、梨、いちご）

(新規)

観光分野

- ・データ活用により、観光関連産業の業務効率化と誘客を推進

(新規)

最先端分野

- ・地域課題の解決に向けたベンチャー企業等の実証実験を支援





1. デジタル化の推進

(新規)

・アバター技術を実証

(スマート加賀IoT推進事業費)
予算額：17,000千円

- ・「窓口業務」や「教育」の分野において、サービスの定着化を目指しアバター技術を実証



(新規)

・ドローンの活用環境を整備

(スマート加賀IoT推進事業費)
予算額：14,650千円

- ・ドローンにより広範囲の3D地図データを作成し、航路の設計を行うことで環境を整備
- ・ドローン利活用による新ビジネスを創出

①ドローン測量



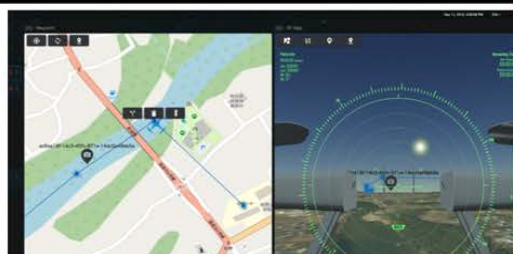
ドローン測量を行い、建築物や川、地形等100㎡あたり約120枚の写真を撮影

②3D地図作成



高精度の3D地図を作成する。特に、建物や電線を高精度に再現

③空の道(航路)作成



3D地図を飛行ルート生成ソフト(TRJX)に取り込み、空の道(航路)を生成



1. デジタル化の推進

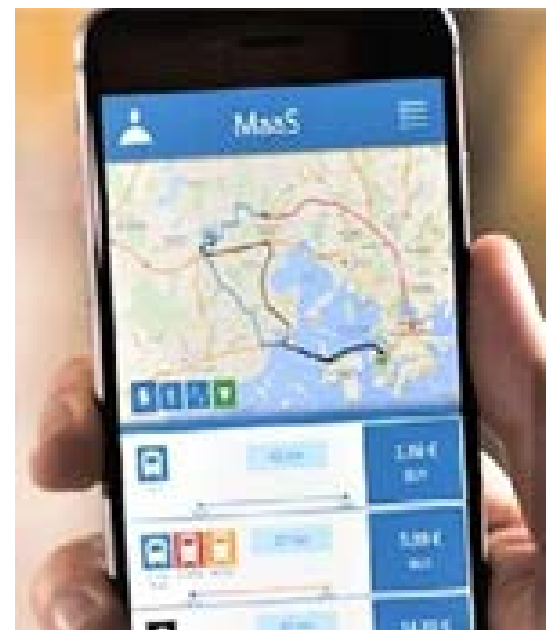
(新規)

○ MaaS(マース)推進事業

(地域交通利用促進事業費)
予算額：4,884千円

バス、タクシー、鉄道などの交通機関の情報をIT技術により連携させ、一体的な交通サービスとして提供する考え方である、**MaaS** (Mobility as a Service) を推進し、交通サービスの最適化を図る

- ・令和2年2月4日に設立した、「加賀MaaSコンソーシアム」を運営
- ・本市の特徴に応じたMaaSの形を、上記コンソーシアムでの検討をもとに見定める





1. デジタル化の推進

○ デジタル化推進事業

(新規)

・デジタル自治体プラットフォーム事業

(デジタル化推進費)
予算額：37,768千円

「デジタル自治体プラットフォーム」を構築

- ・マイナンバーカードを活用した個人認証による「デジタル自治体プラットフォーム」を構築
- ・個人認証によって精度の高いサービスを提供
- ・行政手続き等の電子化により市民や市内外企業の利便性を向上

デジタルID



加賀POTAL
<https://kaga.potal.jp>



精度の高い
サービス

生体(顔)認証システムの導入

- ・市職員の勤務管理業務に生体(顔)認証システムを導入し行政コストを削減



1. デジタル化の推進

(新規)

○ 母子健診情報デジタル化事業

(かがっこ応援プロジェクト2020)

(母子保健推進費)
予算額：1,500千円

- ・乳幼児健診情報のデジタル化
(学校健診情報のデジタル化は令和元年度より実施済み)



- ・デジタル化されたデータをスマートフォンやパソコンから閲覧可能に
- ・将来的に健康コラムやアドバイスを含めて本人にフィードバック



- ・子どもの健康管理に関する意識の向上
- ・保護者の利便性の向上





2. 未来を担う人材の育成

(新規)

○ ICT活用学習支援推進事業

(学校教育研究費)
予算額：3,364千円

タブレット端末を用いて、一人ひとりの教育ニーズや学習状況に応じた個別学習の環境をつくり、学力向上を目指す

小学校4年生、中学校2年生を対象に総合学力調査を実施し、その結果をソフトと連動させ、児童生徒一人ひとりにあった学習支援を行う。





2. 未来を担う人材の育成

(新規)

○ STEAM教育 (※1) を推進

(STEAM教育推進事業費)
予算額：8,818千円

児童生徒が社会にある課題を発見し、解決に向け、思考力や判断力を育成するとともに、課題解決に向けた行動力を身に付ける。

(※1) Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Art (芸術)、Mathematics (数学) を統合的に学習する教育方法

・「総合的な学習の時間」を支援

中学校教員の資質向上のための研修会を実施
専門知識を持った I C T 支援員を派遣

・ I C T を活用した教育環境実証事業

中学2年生を対象に V R (※2) キット等を活用した I C T 体験を実施
小学校に L T E タブレット (※3) を整備し、アクティブラーニングを実施



(※2) 人工的に創りだされた仮想空間のことで、限りなく実体験に近い体験ができる。

(※3) 携帯電話の通信システムを利用できるタブレット



2. 未来を担う人材の育成

○ プログラミング教育推進事業

(プログラミング教育推進費)
予算額：16,576千円

(スマート加賀IoT推進事業)

- ・マイクロビット (※1) 教室の開催
- ・マイクロビットの作品コンテストの開催
- ・ロボレーブクラブ (I Tクラブ) の実施 ほか

(※1) 小型のコンピュータ教材

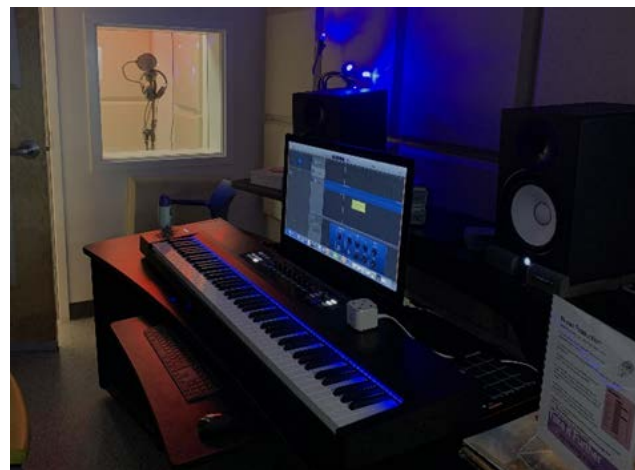
○ コンピュータクラブハウス加賀 運営事業

(かがっこ応援プロジェクト2020)

(ICT学習推進費) 予算額：20,000千円

- ・全ての子どもたちに、テクノロジーに触れ、探求することができる場所を提供
- ・A I 等を活用し、使いこなせる、未来を担う人材を育成

(クラウドファンディング型ふるさと納税による資金調達)





2. 未来を担う人材の育成

○スマート加賀IoT推進事業(人材育成事業)

(スマート加賀IoT推進事業費)
予算額：IoT人材育成 46,000千円
ロボレーブ 20,000千円
イノベーションセンター 7,000千円

・IoT人材育成事業

- ・市内企業を対象としたIoTに関する講習の開催
- ・5Gを活用した企業向けの講習や児童・生徒へのワークショップを実施

・ロボレーブ世界大会を開催

- ・世界的な児童・生徒のロボット大会である「ロボレーブ世界大会」を開催

・イノベーションセンター(人材育成拠点)の整備

- ・ネットワーク環境の整備など、イノベーションセンターの機能を強化
- ・インキュベーションルームの入居者を支援





3. 脱炭素社会への取組み

○ エネルギーマネジメント推進事業

(エネルギーマネジメント推進費)
予算額：4,824千円

(新規)

・公共施設等の太陽光発電導入基本計画の策定

- ・公共施設の屋根や市有地の活用を検討
- ・太陽光発電量や費用対効果の検証を実施

・加賀市版RE100推進協議会

- ・「脱炭素社会」と「地域内経済循環」の実現を目指す協議会を運営
- ・市民、団体、企業、行政が情報共有し、講演会の開催等で普及を推進